

何気なく、ざら半紙に、計算して見た。

今日は、僕の生後、五千七百四十一日目の日である。十三万七千七百八十四時間にもならん！百年生きても、八十七万六千六百時間にしかならん。四年に一回のうるう年のぶんの六百時間も入ってだ。

僕の生まれたのは、昭和二十三年七月四日。

日曜日の様だ。

毎週、僕は日曜日を一番大切にしよう。よく、ちゃんと休んで、楽しもう。

今日は、朝、ゆっくりして、代数さぼっちゃった。この調子では、あと、二三日は、この状態だろう。まあ、いい、それから勉強しよう。

めしを食べて、すぐに部屋に戻った。

今朝はよく寝たので、すぐには眠れない。天井見ながら、机の写真見ながら、昨日の事を思い出していた。

机の前の写真が、高田はんに見える。机の前の写真が誰かわからなくなった。僕は幻を夢見ているのか。

写真を、はずして、折り畳んで、机の引き出しの中に入れて、電気を消して、寝た。

僕は幻を夢見ているのか